

# 石神中学校だより15号

発行日：令和3年12月 8日

2021重点目標＜課題を持って自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒＞ 文責：校長 佐藤恭司

## 人権擁護作文入賞者表彰式開催！

法務省と全国人権擁護委員連合会では、次代を担う中学生の皆さんに、日常の家庭生活や学校生活等の中で得た体験に基づく作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として、昭和56年度から「全国中学生人権作文コンテスト」を実施しています。今年度も本校から多くの人権作文が出品されました。5名が入賞し、12月8日(水)本校において、人権擁護作文入賞者の表彰が行われました。県奨励賞を受賞した「題名：障害者の人権」3年重野未詩さん、支局長・会長奨励賞を受賞した「題名：いじめについて」3年石川乃亜さん、「題名：心地よく暮らすために」3年坂本柚香さん、「題名：感謝」3年五十嵐葉月さん、「題名：コロナ差別について」3年渡部朔矢さんです。さらに本校の出品数は県内の学校の中でもきわめて高く、学校に感謝状をいただきました。



## 石神地区の皆さん方に支えられて

本校校庭北道路に面したブロック塀下側数十メートルに渡り花が植えられています。本地区が「原町市」だった頃より地域の「石神青少年を育てる会」の皆さん方が長年にわたり植栽を行っていただいています。植栽は、下の写真のように季節ごと、定期的に行われています。また、南相馬市防犯協会石神支部の皆さん方にも、防犯パトロールや交通安全運動を行っていただき、子どもたちの安心安全につながっています。本校は地域に支えられていることに深く感謝しながら、これからも連携して取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございます。



4月15日撮影



6月24日撮影



11月11日撮影

## 学校を知り尽くす二人の用務員さん

暖房に限らず、湿気取りなど、ほぼ1年中稼働しているエアコン。フィルターは汚れやすく定期的に清掃しなければなりません。本校用務員の表信義さんは、三脚に登り、エアコンのフィルターを外し、そしてフィルターにこびりついている埃やゴミなどを丁寧に除去しています。表さんは、「生徒や先生方など、埃などを吸わないようにしないとね」と話をしています。また、風で飛ばされる校庭の砂や晩秋の時期の枯れ葉が、校舎周りの側溝に集まります。定期的に清掃しないと、雨水が流れなくなり、漏水やあふれ出す原因にもなってしまいます。用務員の豊田正夫さんは、1、2年生の昇降口前の側溝にたまった砂や枯れ草の除去を一生懸命に行っています。学校を知り尽くす二人の用務員さんは、今日もマイペースで校舎内外の営繕に努めています。



## 三者懇談が終わり、まもなく冬休みです

11月29日より、三者懇談が行われました。保護者、生徒と学級担任が面談することで、2学期の学校生活・家庭生活での頑張りや課題などを話し合い、今後の生活に役立てることももちろん、生徒の悩みや不安解消にもつなげる機会と考えています。また、23日に2学期終業式が行われ、18日間の冬休みに入ります。3年生は受験モード一色となり、最後の追い込みに入ります。冬休み期間の規則正しい生活や事故の絶無などについても家族で話し合ってください。



## 昔の人の知恵に学ぶメッセージ

**“今日の一つは明日の二つにまさる”** (ベンジャミン・フランクリンより)

この言葉は、今日一つのことを終わらせることは、明日二つ終わらせることよりも値打ちがあるということです。明日できることを今日やらなくて後悔したという話や明日できることを今日やって良かったという話はありませんか。明日、急に何かの用事が入り、予定していたことができなくなることもあります。今日できることをその日にやり遂げることが大切だという教えです。